



本庄の歴史を語る—

歴史民俗資料館

★文化財保護課 ☎221186



盾持人物埴輪 (小島前の山古墳出土 6世紀末頃)

ぼくに似てるかな？
ぜひ本物の埴輪を間近
で見てください！

〔歴史を語る展示物〕
本庄市歴史民俗資料館では、本庄市マスコット「はにぼん」のモデルになった「盾持人物埴輪」のほか、本市の各時代を物語る貴重な資料をたくさん展示しています。

1階には、縄文・弥生時代の土器、古墳時代のさまざまな埴輪、中世資料などを展示し、2階では、近世・近代の資料や写真等により、中山道本庄宿の繁栄や繭と絹の町への変化の一端についても紹介しています。

〔洋風建築の建物〕
明治16年に本庄警察署として建築された建物自体が、明治時代の洋風建築物として県の文化財に指定されていて、モダンな外観や室内の随所にその特徴がよく表れています。

〔ご予約のしかた〕
ご予約いただければ詳しい説明もできますので、資料館を一度じっくり見学してみませんか。

各時代を物語る展示品



縄文土器 (児玉町共栄)
県内最大規模の集落群が営まれた現児玉工業団地周辺の縄文時代中期の新宮遺跡から出土。



ガラス小玉鑄型 (日の出)
本庄東中学校校舎建設に伴う薬師堂東遺跡の調査で出土。完全な形での出土は日本初であり、破片点数も日本最多。(7世紀頃)



棟札
明治16年、本庄警察署創建時の上棟札。作事請負人 角田富蔵は美里の人、ほかに建築委員とし諸井、田村など、地域の有力者が名を連ねている。

内耳土鍋・白磁小皿ほか (東五十子)
関東の戦国時代の始まりを告げる五十子陣の跡から出土。五十子陣は関東管領上杉氏が約20年陣を張った場所。



田村本陣休泊帳
江戸時代、本庄宿の本陣に休泊した大名や役人等の記録。写真下は、皇女和宮が將軍家茂に降嫁した時の宿泊記録。



轆形埴輪 (北堀 マリーゴールドの丘)
轆は矢を入れて背負う道具。県内でも確認例が数少ない埴輪窯跡である宥勝寺裏埴輪窯跡(県指定史跡)から出土。(6世紀末頃)



所在地 中央1-2-3
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日 (休日の場合は翌日)
説明申込 歴史民俗資料館 ☎223243

※予約がなくても見学できます。説明をご希望の方は、担当者不在の場合がありますのでご予約を！

入館 無料



●詳細を check>>>